

第16期

計 算 書 類

自 2019年 4月 1日

至 2020年 3月 31日

エイベックス・デジタル株式会社

貸借対照表

(2020年 3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
〈資産の部〉		〈負債の部〉	
流動資産	5,995	流動負債	4,333
現金及び預金	9	未払金	3,992
売掛金	28	未払印税	166
未収入金	4,878	未払法人税等	1
預け金	1,064	未払消費税	159
その他	15	賞与引当金	5
貸倒引当金	△2	役員賞与引当金	0
		その他	8
固定資産	8,266	固定負債	20
有形固定資産	0	退職給付引当金	20
工具器具備品	0		
無形固定資産	2		
電話加入権	2		
投資その他の資産	8,263	負債合計	4,354
投資有価証券	0		
関係会社株式	5,500	〈純資産の部〉	
長期貸付金	3,000	株主資本	9,906
破産更生債権等	1	資本金	100
繰延税金資産	13	資本剰余金	10,021
貸倒引当金	△251	資本準備金	10,021
		利益剰余金	△214
		その他利益剰余金	△214
		繰越利益剰余金	△214
		純資産合計	9,906
資産合計	14,261	負債・純資産合計	14,261

損 益 計 算 書

(自 2019年 4月 1日)
(至 2020年 3月 31日)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
営業収益		1,584
営業原価		48
売上総利益		1,536
販売費及び一般管理費		361
営業利益		1,174
営業外収益		
受取利息	17	
為替差益	1	
その他	0	19
営業外費用		
その他	1	1
経常利益		1,193
特別利益		
投資有価証券売却益	0	0
特別損失		
投資有価証券評価損	199	199
税引前当期純利益		994
法人税、住民税及び事業税	△51	
過年度法人税等	0	
法人税等調整額	△2	△53
当期純利益		1,047

株主資本等変動計算書

（ 自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月31日 ）

（単位：百万円）

	株 主 資 本			
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	株 主 資 本 合 計
		資 本 準 備 金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	
当 期 首 残 高	100	10,021	△1,261	8,859
当 期 変 動 額				
当 期 純 利 益	—	—	1,047	1,047
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	—	—	—	—
当 期 変 動 額 合 計	—	—	1,047	1,047
当 期 末 残 高	100	10,021	△214	9,906

	評価・換算差額等	純 資 産 合 計
	その他有価証券評 価 差 額 金	
当 期 首 残 高	△9	8,850
当 期 変 動 額		
当 期 純 利 益	—	1,047
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	9	9
当 期 変 動 額 合 計	9	1,056
当 期 末 残 高	—	9,906

- I 重要な会計方針に係る事項に関する注記
- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
- | | |
|---------------|-------------|
| 子会社株式及び関連会社株式 | 移動平均法による原価法 |
| その他有価証券 | |
| 時価のないもの | 移動平均法による原価法 |
- (2) デリバティブの評価基準及び評価方法
- | | |
|--------|-----|
| デリバティブ | 時価法 |
|--------|-----|
- (3) たな卸資産の評価基準及び評価方法
- | | |
|-----|---|
| 仕掛品 | 個別法による原価法
(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定) |
|-----|---|
- (4) 固定資産の減価償却の方法
- 有形固定資産（リース資産を除く）
- 定率法によっております。（ただし1998年4月1日以降取得した建物（建物附属設備は除く）並びに2016年4月1日以降取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。）
- なお、耐用年数は以下のとおりであります。
- | | |
|--------|-------|
| 工具器具備品 | 4～10年 |
|--------|-------|
- (5) 引当金の計上基準
- ① 貸倒引当金
- 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- ② 賞与引当金
- 従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。
- ③ 役員賞与引当金
- 役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。
- ④ 退職給付引当金
- 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。過去勤務費用は、従業員の平均残存勤務期間以内の一定年数（11年）による定額法により費用処理しております。また、数理計算上の差異は、その発生時の翌事業年度に費用処理することとしております。
- (6) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
- ① 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算の基準
- 外貨建金銭債権債務は、決算期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

- ② 消費税等の処理方法
消費税等の会計処理は税抜方式によっております。
- ③ 連結納税制度の適用
当社は、エイベックス㈱を連結納税親法人とする連結納税子法人として連結納税制度を適用しております。
- ④ 連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用
当社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。
- ⑤ その他
1. 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。
 2. 記載金額が「0」は百万円未満であることを示しております。
 3. 記載金額が「-」は該当金額がないことを示しております。

II 株主資本等変動計算書に関する注記
当事業年度末における発行済株式の種類及び総数
普通株式 9,751株

III 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	1,015,997円80銭
1株当たり当期純利益	107,412円66銭

IV 重要な後発事象に関する注記
(共通支配下の取引等)

(1) 取引の概要

- ① 吸収分割承継する相手会社の名称
エイベックス・エンタテインメント株式会社
- ② 効力発生日
2020年7月1日
- ③ 吸収分割の法的形式
エイベックス・エンタテインメント株式会社を吸収分割会社とし、当社を吸収分割承継会社とする吸収分割
- ④ その他取引の概要に関する事項
グループ各社に点在するB to Cビジネス並びにデジタルソリューションをグループのデジタルプラットフォーム戦略の推進を担う当社に集約・再編成し、E C、ファンクラブ及びチケットサービス等のビジネスにおけるユーザーの利便

性向上やサービス拡充の実現を目的として、実施するものであります。

吸収分割承継する相手会社の規模（2020年3月末時点）は以下の通りです。

売上高	96,901百万円
当期純利益	1,139百万円
資本金	200百万円
純資産	6,422百万円
総資産	41,587百万円

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成31年1月16日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成31年1月16日公表分）に基づき、共通支配下の取引として処理いたします。